

○対談 小柴昌俊 & 遠山慶子

# 天を樂ししみ、道をひらく

科学と芸術という分野は異なるものの友人として活動を共にする機会も多いというノーベル物理学賞受賞者の小柴昌俊さんとピアニストの遠山慶子さん。

ともに一道を極め、世界を舞台に活躍を続けている人物である。幼少期から様々な苦勞を体験しつつも、常に前向きに明るく道をひらいてきたお二人。これまでの半生を振り返っていたきながら、いかにその天真をひらいてこられたかをお話しいただく。

## なぜか気が合う

——世界的科学者とピアニスト

遠山 小柴先生と毎年草津(群馬県)でお会いするようになって久しいです。

小柴 草津の音楽祭(草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル)に来るのは、私の唯一の休暇なんです。

音楽に関してはまったくの素人なんでしょうけれども、世界各国から集まってくる名演奏家の音楽は日頃の疲れを忘れさせてくれる。なかでも遠山さんのモーツァルトは絶品で、あなたの生演奏を聴いていると心が満たされるというか、幸せな気持ちになりますよ。

遠山 ありがとうございます。科学者のピアニストというまったくジャンルの違う人間なのに、小柴さんとはなぜか気が合って、何かにつけて一緒にやる機会が多いですね。年を取って信頼できる友達を得るのは難しいといわれているのに、このように親しくさせていだいて大変嬉しく思っています。

小柴 そうそう。遠藤さんに紹介されて、遠山さんご夫婦と知り合いました。遠藤さんとは同じ年(一九八八年)に文化功勞賞をいただきましてね。宮中に集まった時に、遠藤さんは私に「きょうこの集まりの中で、私が一番若いですよ」と話しかけてこられた。私が「いや違います。私のほうが遠藤さんより三つ若いですよ」と答えたら、

物理学者

## 小柴昌俊

こしば・まさとし 大正13年、愛知県豊橋市生まれ。昭和26年東京大学理学部物理学科卒業。30年米国ロチェスター大学大学院修了。45年東京大学理学部教授に就任。62年の定年退官後、名誉教授となる。素粒子物理学において常に世界の最先端を歩き続け、平成14年宇宙(ニュートリノ)検出に対する功績でノーベル物理学賞受賞。現在は平成基礎科学財団理事長、21世紀臨調特別顧問などの要職を務める。著書に「やればできる」(新潮社)など多数。

ピアニスト

## 遠山慶子

とおやま・けいこ 昭和9年東京都生まれ。6歳からピアノを始める。恵泉女学院中学在学中、来日中のアルフレッド・コルトーに認められ同氏の招きで渡仏。パリ・エコール・ノルマル高等音楽院修了。38年フランス・パリでデビュー以来、主にヨーロッパ、アメリカで演奏活動を続け、日本でもリサイタル、オーケストラとの共演などで活躍。53年に行ったりリサイタルで日本シヨパン協会賞受賞。カメラータから数多くのCDが発売されている。共著に「光と風のなかで」。



草津音楽の森国際コンサートホール前にて